

1.前置詞の基本と、狙われやすいポイント。

レクチャー1

前置詞の文中での働き(用法)。

(1)前置詞とは。

前置詞とは「名詞の前に置く詞(ことば)」という意味で、基本的に必ず後ろに名詞(または代名詞・動名詞等の名詞の仲間)を必要とします。そして前置詞の後ろに置かれる名詞(とその仲間)のことを「前置詞の目的語」と言います。

※前置詞の後には基本的に「名詞の仲間(名詞、代名詞、動名詞等)」しかこない。「S+V」や動詞等は絶対こない。to不定詞もこない。

ですからこれから文中で前置詞を発見したときは、必ず前置詞とそれが導く名詞(前置詞の目的語)をワンセットでとらえるようにしてください。

(2)「前置詞(+名詞)」の働き(用法)。

①「前置詞+名詞」は文の主要素にはならない。

ではその「前置詞+名詞」は文中でどのような働きをするのでしょうか。

まず大前提として「前置詞+名詞」は、S(主語)、O(目的語)、C(補語)といった文の主要素になることは(基本的に)ないという点をおさえましょう。

②「前置詞+名詞」の働き(用法)。

「前置詞+名詞」の文中での働きは以下の2つです。

1.(直)前の「名詞」を修飾する ☞形容詞と同じ働きなので、このような「前置詞+名詞」を「形容詞句」という。

(ex) a bag on the table テーブルの上のカバン
前置詞+名詞

上の例では、on the tableは直前の名詞(bag)を修飾していますね。

(ex) the influence of the East on the West 西洋に対する東洋の影響
前置詞+名詞 前置詞+名詞

上の例では、of the Eastもon the Westも共にthe influenceを修飾していますね。このように、場合によっては「前置詞+名詞」が、直前よりもっと前の名詞を修飾することもあります。

2. 「名詞」以外を修飾する ☞副詞と同じ働きなので、このような「前置詞+名詞」を「副詞句」という。

(ex) I went to school. 私は学校に行った
前置詞+名詞

上の例では、to schoolは、動詞の went を修飾していますね。。

この2つの用法のうち、実際の英文でどちらの用法の「前置詞+名詞」が多いかという、それは圧倒的に1.の方です。したがって英文中で「前置詞+名詞」に出会ったら、

①まず(直)前に修飾できそうな名詞がないかどうか探してみる。

↓

②もしあればその名詞にかけて訳してみる。それで意味がおかしければ、あるいは修飾できそうな名詞がなければ、名詞以外を修飾していると判断して、他に修飾できそうな語句(動詞・形容詞・文全体など)を探す。

このやり方で、文中の「前置詞+名詞」の訳し方がかなりスピードアップするはずですよ。

レクチャー2

「前置詞+名詞」の例外的な働き(用法)。

レクチャー1で述べたことはあくまで文法上の基本ルールで、「前置詞+名詞」の文中での働き(用法)にもいくつかの例外があります。以下にそれを整理してみました。

(1) 「前置詞+名詞」が主語になることがある。

(ex) From New York to Chicago made me exhausted.

S

V

O

C

make O C:OをCにする

ニューヨークからシカゴまでの移動でヘトヘトになった

上の英文では、from New York to Chicago の部分全体がS(主語)になっています。

(2) 「前置詞+名詞」が補語になることがある。

(ex) He was in good health. 彼は健康だった
S V C

上の英文の in good health はCと見るのが自然です。その理由は in good health は healthy(健康な)という形容詞と意味的にイコールであり、

He was healthy.

と書けば「SVC」で、healthy を in good health に書き換えたなら意味が同じなのに「SVC」ではないと屁理屈をこねるのもあまりに杓子定規(しやくしじょうぎ)で合理的でないからです。

また「前置詞+名詞」は with O C の「C」になることもあります。

(ex) He was there with his hands in his pockets.
O C

彼はポケットに手を入れてそこにいた

(3) 「前置詞+名詞」が接続詞になることがある。

つまり「前置詞+名詞」が後ろに「S+V」を従えて副詞節になることがあるのです。しかしそのような「前置詞+名詞」は以下に限られ、決まり文句として覚えた方が良いでしょう。

① by the time S+V~: S~する頃までには

(ex) I will have finished my work by the time she comes here.
彼女がここにくるころまでには仕事を終えてしまっているだろう

② for fear S+ $\left\{ \begin{array}{l} \text{will [would]} \\ \text{may [might]} \\ \text{should} \end{array} \right\} + V\sim: S\text{が}\sim\text{するといけないので}$
Sが~しないように

(ex) You'd better insure your office for fear there should be a fire.
火災に備えて事務所に保険をかけた方がいい

③ in case S+V~:

1. もし~なら

(ex) In case anything happens, call me immediately.
もし何かあったら、すぐに電話してください

2.~の場合に備えて、~するといけないので

(ex) You had better take an umbrella **in case** it rains[should rain].

(万一)雨が降るといけないから傘を持っていきなさい

(4)前置詞の後ろに「名詞(の仲間)」以外がくることもある。

(ex) We looked on Mr. Baker as **great**. 我々はベイカー氏を偉大だとみなした
(形)

Jack returned from **abroad**. ジャックは海外から戻ってきた
(副)

Jim was given up for **lost**. ジムは死んだものとしてあきらめられた
(分)

A cat appeared from **behind the curtain**. 前置詞の後ろに「前置詞+名詞」がくることがある。
(前) (名) これを二重前置詞という。

一匹の猫がカーテンの後ろから現れた

I am far from (being) **satisfied** with the result.
(分)

私はその結果には全く満足していない

レクチャー3

文法問題では、前置詞はどのような点が狙われるのか。

前置詞が文法・語法問題で狙われる場合、以下の3点が頻出のポイントになります。

(1)それぞれの前置詞の基本的な意味やニュアンスの違いを問うもの。

Q : We set out () the morning of October.

①in ②at ③on ④for

上の問題の正解は③です。「特定の日(の朝、昼、夕方)」等を表す名詞の前では on が好まれます。

「時」と「場所」を表す前置詞としての at, in, on の使い分けはよく問われま

(3)前置詞を用いた慣用表現・イディオムを問うもの。

Q : I don't like those people who see life () money.

- ① in terms of ② in spite of ③ in case of ④ in need of

上の問題の正解は①です。in terms of A で「Aの観点から」という意味になります。問題文の意味は「私はお金の観点から人生を見る人は嫌いだ」となります。ちなみに②は「～にもかかわらず」、③は「～の場合に(備えて)」、④は「～を必要として」という意味です。

この問題の選択肢のような、2語以上が集まって1つの前置詞として働くものを「群前置詞」といい、受験では頻出です。

Q : We hurried to make () for lost time.

- ①up ②on ③to ④with

上の問題の正解は①です。make up for A で「Aの埋め合わせをする」という意味になります。compensate for A で言い換えることができます。問題文の意味は「失った時間を埋め合わせるために私達は急いだ」となります。

Q : () his great surprise, his house was on fire when he came home.

- ①Up ②On ③To ④With

上の問題の正解は③です。「To A's+感情を表す名詞」で「Aが〇〇なことには」という意味になります。「To the+感情を表す名詞+of A」という書き換えも可能です。To の前に much が置かれてその意味が強調されることもあります。

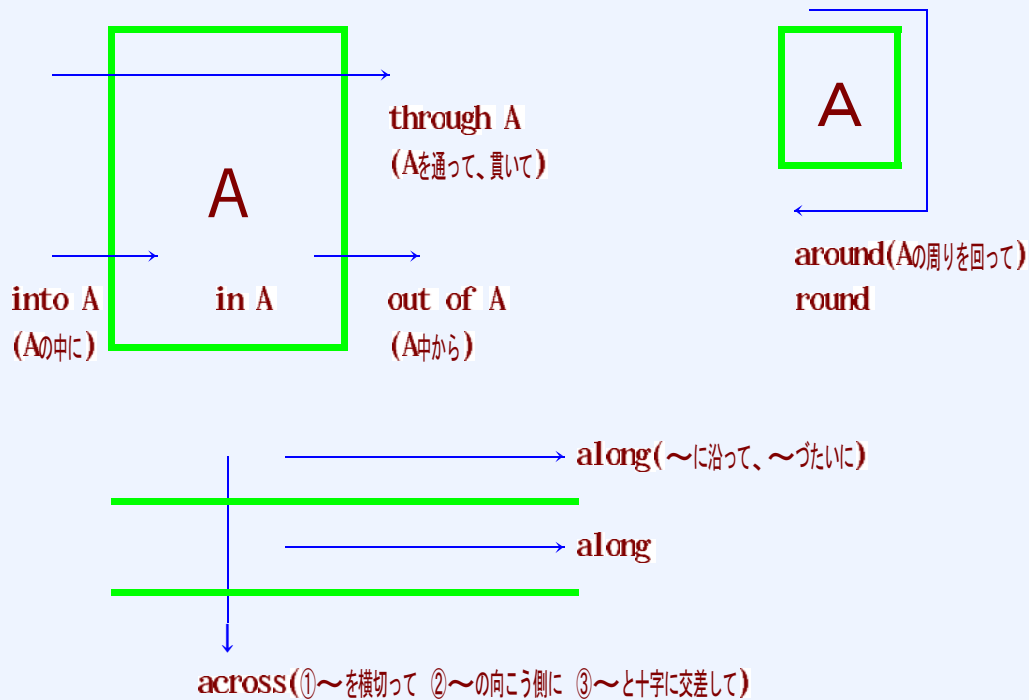
= Much to his surprise, his house was on fire when he came home.

問題文の意味は「とてもびっくりしたことに、彼が帰宅してみると自宅が火事だった」となります。

- 《演習》 (1) The plane flew (on / over) my house.
 (2) There is a waterfall (over / above) the bridge.

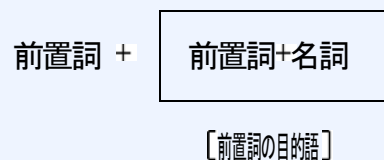
【解答・解説】 (1) 正解はover。onにしまうと、「その飛行機は私の家に接触して飛んで行った」ということになってしまう。
 (2) 正解はabove。overにしまうと、「その橋の真上に滝がある」となってしまう。そんな橋は渡ることはできない。
 「～の上流に」という意味になるaboveの方がいい。

5. 運動や方向の前置詞。



6. 二重前置詞。

罫 2つの前置詞が連続するものを二重前置詞という。後の前置詞が導く句(つまり「前置詞+名詞」)が前に位置する前置詞の目的語となっている。



(ex) We heard the children's shouts of joy from across the garden.

子供たちの歓声が庭の向こうから聞こえた

He was chosen from among the volunteers.

彼は志願者の中から選ばれた

The sound of laughter came from behind the curtain.

カーテンの後ろから笑い声が聞こえた

He took a box from under the counter.

彼はカウンターの下から箱を取り出した

I have been up since before sunrise.

私は日の出前から起きています

We didn't see him till after the meeting.

私たちは会議の後まで彼に会わなかった

7.意味や用法の紛らわしい前置詞。

(1) ①in front of 「～の前に、正面に」 ⇔at the back of, behind

②opposite 「～に向かい合って」「～の向かい側に」=across from

(ex) My house is just opposite the hospital. 私の家は病院の真向かいです

③before 1. 「～の面前に」

(ex) He sat before me. 彼は私の前に座った

會物や建物に関して「…の前に」という場合は通例 in front of を用いる。

2. 「～より(時間的に)前に」 ⇔after

(ex) He did not come back before two.

彼は2時前には帰らなかった

(2) ①in 「①～後に ②～かかって」(主に**未来**のことについて用いる)

②after 「～後に」(**過去**のことについて用いる)

③within 「～以内に」

(3) ①until[till] 「～まで(ずっと)」(**継続を表す動詞**と共に用いる)

②by 「～までに(は)」(**完了・期限を表す動詞**と共に用いる)

會 「by (the time)」と「until[till]」の使い分け方。

①by は、「～までには」という意味の前置詞。同じ「～までには」という意味でも「by the time」は接続詞なので後ろに「S+V～」をとる。

②それに対して「until[till]」は「～まで」という意味。「until[till]」は前置詞、接続詞両方の品詞がある。「until[till]」の後ろに「名詞」があればその「until[till]」は前置詞、「S+V～」があれば接続詞と判断すればいい。

③「by」と「until[till]」の使い分け

1. 「by(またはby the time)」は、

(a)後ろには「期限」を表す語句が来る。

(b)主節に、「完了・達成」の意味を表す動詞が来るのが特徴。

(ex) I shall have finished it by tomorrow.

明日までにはそれを終えてしまっているだろう

The work will be finished by 8 o'clock.

仕事は8時までには終わるだろう

Will you finish it by tomorrow morning?

明朝までにそれをやり終えてくれませんか

Daylight had come by the time the meal was over.

食事が終わるころまでには夜が明けていた

たしかに上の例文でも finish, be finished, had come は「完了・達成」の意味を表す動詞であり、by (the time)の後ろには「期限」を表す語句がある。

2. 「until[till]」は

(a)後ろには「継続の終点を示す」語句が来る。

(b)主節には「継続」の意味を表す動詞が来る。

のが特徴。

(ex) He will stay here until next Sunday.

彼は次の日曜日までずっとここにいる

Wait until tomorrow morning.

明日の朝まで待ちなさい

Until now I have always been very happy.

今まで私はいつもとても幸せでした

たしかに上の例文でも、stay, wait, (always) been は「継続」の意味を表す動詞であり、until の後ろには「継続の終点を示す」語句がきている。

(4) ①for 「～の間」(数詞やsome, few等を伴って期間の長さを表す)

(ex) I have lived here for three years. 私は3年間ここに住んでいる

②during 1. 「～の間(ずっと)」(具体的な出来事を伴って特定の期間を表す)

2. 「(ある期間の間の)ある時に」

(ex) I stayed there for a week during the summer vacation.

夏休みの間1週間そこに滞在した

During[×For] my stay in London, I met an old friend of mine.

ロンドンに滞在中に、旧友に会った

During the night, the snow changed to rain.

夜中に雪は雨に変わった

③through(cut) 「～の初めから終わりまで」

會期間全体に渡って継続することを強調する。during の強調形と考えてもいい。

through より throughout の方がより強調する度合いが強い。

(ex) I had to sit through the long sermon

私はその長い説教の終わりまでずっと座っていなければならなかった

會while も「～の間」という意味になるが、while は(従位)接続詞なので、後ろに「S+V～」をとる。

(ex) They prepared for a trip while their parents were sleeping.

彼らは両親が眠っている間に旅行の準備をした

會among も「～の間で(に)」という意味になるが、こちらは「物理的位置関係」や「分布」における意味でのみ用い、「期間」に対しては用いない。

(ex) I see a house among the trees. 木立の間に家が見える

It was my first night among strangers.

それは私が初めて他人の中で過ごした夜でした

(5) ①beside 「～のそばに」

(ex) Sit beside me. 私のそばに座りなさい

②besides 「～に加えて」「～の他に」

(ex) Besides being a businessman, he is a musician.

実業家である上に彼は音楽家でもある

(6) ①cn A: 「(接して)Aの上に、Aに接している」

②cver A: 「(離れて)Aの真上に」

③above A: 「Aの上の方に、上流に」

會aboveは、基準になる面(線)より高いことを表し、「真上(cver)」とは限らず、「接触(cn)」もしない

(ex) above the horizon 水平線上に

Our plane was flying above the clouds.

我々の飛行機は雲の上を飛んでいた

8,000m above sea level 海拔8000メートル

(7) above 「～を超越して」「～できない」 =beyond～

(ex) The lecture was above me.

その講義は私を超越している → 私には理解できない
She is above telling a lie.

彼女は嘘をつくことを超越している → 決して嘘はつかない

(8) after 「～を求めて、追跡して」「～にならって、ちなんで」

(ex) The police were after the thief. 警察はその泥棒を追っていた

He was named John after his father.

彼は彼の父親にちなんで名付けられた

(9) ①for+全体の金額

②at+1個当りの金額/price

③by+単位

(ex) I bought these oranges for 500 yen. 500円でこのオレンジを買った

I bought these oranges at 50 yen apiece.

1つ50円でこのオレンジを買った

I sold the car at a reasonable price. 手ごろな値段でその車を売った

I was paid by the day. 私は日給で給料を支払われた

(10) ①toward 「～の方へ」 (単に方向を示す)

②to 「～に」 (具体的な到着点を示す)

③for 「～に向かって」 (leave, start等と共に用いられ目的地を示す)

(11) but 「～を除いて、～以外」 ☞以下のような場合に、butが「～を除いて」という意味になる。

=except

①all, every, no, nothing, nobody, anywhere, 最上級

=save

等の後ろにbutがくる場合。

②butの後ろにto不定詞、原形不定詞がくる場合。

(ex) They all went out but me. 私のほかは全員出かけた

He finished last but one. 彼は最後から2番目でゴールインした

They had no choice but to leave.

彼らは立ち去る以外どうしようもなかった

He did nothing but study when young. 彼は若い頃勉強ばかりしていた

會副詞の but もある。only と同じ意味で使われる。

(ex) She is but a child. 彼女はほんの子供です

If I could but see her. 彼女に会えさえしたらなあ

④また but for A で「もしAがなければ(なかったならば)」というイディオムも頻出。

(ex) But for this storm, we'd be having a nice party now.

=If it were not for this storm, we'd be having a nice party now.

この嵐がなければ、今ごろは楽しいパーティーをやっているところでした

But for you, everything would have gone well.

=If it had not been for his mistake, everything would have gone well.

彼のミスさえなかったら万事うまく行ったのに

8.群前置詞。

(1)「理由・原因」を表すもの

①because of A	「Aのために、Aおかげで」
②on account of A	「 " 」
③owing to A	「 " 」
④due to A	「 " 」
⑤thanks to A	「 " 」

(2)「目的」を表すもの

①for the purpose of A	「Aのために」
②with a view to A	「 " 」
③with the view of A	「 " 」
④for the sake of A	「 " 」
⑤for the benefit of A	「 " 」

(3)「～にもかかわらず」という意味のもの

①in spite of A	cf; though S+V ~: ~にもかかわらず
②for all A	④thoughは接続詞なので後ろに「S+V」をとる。
③with all A	in spite of ~の仲間はなくまで前置詞なので
④despite A	後ろには「名詞(の仲間)」しかとれない。
⑤in the face of A	

(4)「～は別として(除いて)」という意味のもの

①apart from A	☞apart from には、①「Aから離れて」、②「Aは別として」、③「Aだけでなく(Aに加えて)」の3つの意味がある。
②aside from A	☞aside from には、①「Aは別として」、②「Aだけでなく(Aに加えて)」の2つの意味がある。

(ex) He lives apart from his family. 彼は家族と離れて暮らしている

apart from the problem その問題はさておき

Apart from the color, I don't like the pattern.

色だけでなく、模様も気に入らない

(5) 「比較・比例」に関するもの

- ① in [by] comparison with [to] A 「Aと比べて」
- ② compared with [to] A 「Aと比べて」
- ③ in proportion to A 「Aに比例して」

(6) 「～の代わりに」という意味のもの

- ① instead of A [doing ~] : Aの[～する]代わりに
- ② in place of A
- ③ on behalf of A

(7) その他

according to A

- ① Aによれば

(ex) According to the paper, there was an earthquake in Mexico.

新聞によればメキシコで地震があったようだ

- ② Aに従って、Aに応じて

(ex) You have only to work according to your ability.

自分の能力に応じて働きさえすればいい

along with A : Aと共に、Aに加えて =together with A

(ex) She ate steak, along with salad and rolls.

彼女はサラダとロールパンと一緒にステーキを食べた

apart [aside] from A

- ① Aは別にして、Aはさておき

(ex) apart from the problem その問題はさておき

- ② Aに加えて、Aだけでなく =in addition to A

(ex) Apart from the color, I don't like the pattern.

色だけでなく、模様も気に入らない

as a result of A : Aの結果として

(ex) He was late for the meeting as a result of the accident.

彼はその事故の結果、会議に遅刻した

as to A : Aに関して =about A, concerning A

(ex) We are in agreement as to the basic points.

基本的な点については合意している

as of A : A現在で (の)、A (日時) から

(ex) the population as of Jan. 1, 1980 1980年1月1日現在の人口

at the mercy of A : Aのなすがままになって

(ex) She was at the mercy of her husband. 彼女の夫のなすがままだった
at the cost[expense] of A :Aを犠牲にして

(ex) Are you willing to do it at the cost of your family?

君はそれをやるのに家族を犠牲にしてもいいのか

at the end of A :Aの終わりに

(ex) At the end of the meeting, he spoke about the matter.

会議の終わりに、彼はその件について話した

at the risk of A :Aの危険を冒して

(ex) The man saved the drowning child at the risk of his own life.

その人は自分の生命を賭しておぼれる子供を助けた

at the sight of A :Aを見て、見るや否や

(ex) The man ran away at the sight of a policeman.

その男は警官の姿を見て逃げ去った

beside oneself [with A(感情を表詞)] :[Aで]我を忘れる

(ex) He was beside himself with joy when he passed the exam.

彼は試験に通ったとき、喜びで我を忘れた

beyond the reach of A :Aの及ばないところで

(ex) The car is priced beyond the reach of most of us.

その車は私たちのほとんどには手の届かない値がつけられている

by means of A :Aの手段を用いて

(ex) We breathe by means of lungs. 我々は肺によって呼吸する

by way of A :A経由で、Aのつもりで

(ex) I went to England by way of France.

私はフランス経由でイギリスに行った

contrary to A :Aに反して

(ex) He acted contrary to my wishes. 彼は私の期待に反する行動をとった

except for A :Aを除いて

(ex) The streets were deserted except for the engineer.

修理工以外、通りには誰もいなかった

in charge of A :Aを担当している、Aの責任者である

(ex) Mr. Black is in charge of the class. ブラック先生がそのクラスの担任です

in connection with A :Aに関連して =concerning A

(ex) Let me ask you some questions in connection with the theme.

そのテーマに関して質問させてください

in front of A :Aの正面に

(ex) I parked my car in front of the park. 私は公園の前に駐車した

in relation to A :Aに関して =regarding A

(ex) I have a lot to say in relation to the matter.

その件に関して言いたいことがたくさんあります

in the course of A : Aの間に =during A

(ex) He visited Sam in the course of his trip. 彼は旅行中にサムを訪問した
in the face of A : Aに直面して(も)

(ex) He was brave in the face of danger. 彼は危険に直面しても勇敢であった
in view of A

①Aを考慮して =in the light of A =considering A

(ex) In view of this situation, we should adopt the new policy.

この状況を考慮して、新政策を採用すべきである

②Aの見えるところに

(ex) The politician stood in full view of the crowd.

その政治家は群衆からよく見えるところに立った

in spite of oneself : 思わず

(ex) He burst out laughing in spite of myself. 彼は思わず笑い出した
in favor of A : Aに賛成して、Aの利益になるように

(ex) I am in favor of that idea. その考えに賛成です
in addition to A : Aに加えて =besides A

(ex) In addition to good health, she has a good brain.

彼女は健康に加えて頭がよい

in honor of A : Aに敬意を表して

(ex) We celebrate Mother's Day in honor of our mothers.

私たちは母親たちに感謝して母の日を祝います

in place of A : Aの代わりに

(ex) In place of a final exam, I'd like you to write a term paper.

期末試験の代わりに君たちにレポートを書いてもらいたい

in return for A : Aのお返しに

(ex) I gave him a present in return for his favor.

私は彼の好意の返礼に贈り物をした

in terms of A : Aの観点から

(ex) We should see the disaster in terms of global warming.

我々は、地球温暖化の観点からその災害を見なければいけない

in company of A : Aと一緒に

(ex) I went there in company with him. 私は彼と一緒にそこに行った

in (the) light of A : Aを考慮して、Aに照らし合わせて

(ex) History should be read in (the) light of these facts.

歴史はこのような事実に照らして読まれるべきだ

in the presence of A : Aの面前で

(ex) in the presence of several VIPs 何人かの要人の集まっている前で

in token of A : Aの印に(として) =as a token of A

(ex) He gave her a ring as a token of his affection.

彼は愛情の印として彼女に指輪を贈った

in want of A : Aを必要として =in need of A

(ex) We are badly in want of water. ひどい水不足である

on behalf of A

①Aのために [目的・利益]

(ex) Please behave in my behalf. 私に有利なように行動してください

②Aを代表して

(ex) I went there on behalf of John. ジョンの代理でそこへ行った

on the point of A : Aを(まさに)しようとして =on the brink of A

=on the verge of A

(ex) He was on the point of leaving. 彼はまさに立ち去ろうとしていた

prior to A : Aの前に =before A

(ex) The accident happened prior to his arrival.

その事件は彼が着く前に起こった

regardless of A : Aに関係なく、Aにかまわず =irrespective of A

(ex) The boy climbed the tree regardless of danger.

その少年は危険をものともせずにその木に登った

9.前置詞によって意味や用法が変化するイディオム。

(1) agree with A(人) 「Aに同意する」

agree to A(譲渡・提案など) 「Aに同意する」

(2) be angry with A(人) 「Aに腹を立てる」

be angry at/about A(事) 「Aに腹を立てる」

(3) be anxious about A(人) 「Aを心配する」

be anxious for A(事・物) 「Aを切望する」

(4) look after A 「Aの世話をする」

look at A 「Aを見る」

look for A 「Aを捜す」

look into A 「Aを調べる」

look on A as B 「AをBとみなす」

look over A 「Aを調べる」「ざっと目を通す」

look up to A	「Aを尊敬する」
look down on A	「Aを軽蔑する」
look to A for～	「Aに～を頼る」
(5)be tired of A	「Aに飽きている」
be tired with A	「Aに疲れている」
(6)be true of A	「Aに当てはまる」
be true to A	「Aに忠実である」
(7)part from A(人)	「Aと別れる」
part with A(物)	「Aを手放す」
(8)allow for A	「Aを考慮する」
allow of A	「Aを認める」
(9)call on A(人)	「Aを訪ねる」
call at A(場所)	「Aを訪ねる」
(10)inquire after A(人)	「Aの安否を尋ねる、見舞う」
inquire into A(事)	「Aを調べる」
inquire of A(人)	「Aに尋ねる」
(11)compare A with B	「AとBを比較する」
compare A to B	「AをBにたとえる」
(12)according to A	①「Aによれば」 ②「Aにしたがって」=according as A =in accordance with A =depending on A
(13)consist of A	「Aから成る」 =be composed of A
consist in A	「Aの中にある」 =lie in A
(14)result from A(原因)	「Aが原因で起こる」 =follow A
result in A(結果)	「Aの結果に終わる」 =end up A
(15)succeed in A	「Aに成功する」 ⇔fail in A
succeed to A	「Aを引き継ぐ」 =take over A
(16)deal with A	「Aを扱う、処理する」
deal in A	「Aを商う」
(17)apply A to B	①「AをBに適用する、応用する」 ②「AをBに加える、充てる、向ける」

apply to A	「Aに当てはまる」
apply (to A) for B	「A(人)にB(仕事・許可・援助)を求める、志願する」
(18)interfere with A	「A(人)に干渉する、邪魔する」
interfere in A	「A(物事)に口をはさむ」
(19)wait for A	「A(人)を待つ」
wait on A	「A(人)に仕える、給仕する」 =serve A
(20)attend A	「Aに出席する」
attend to A	①「A(仕事)に精を出す」 ②「A(話)を注意して聞く」
attend on A	「Aの世話をする、付き添う」
(21)enter A	「Aに入る」
enter into A	「A(仕事等)を始める」
(22)answer A	「Aに答える」 =reply to A
answer for A	「Aの責任をとる」
(23)hear A	「Aの話を(直接)聞く」
hear of A	「Aの話を(間接的に)聞く、消息を聞く」
hear from A	「Aから便りがある」
(24)search A(搜索する場所)	「Aを搜索する」
search for A(探し物)	「Aを捜す」
(25)want A	「Aを欲する」
want for A	「Aが不足する、Aに困る」
(26)be free of A(料金・税金)	「Aがない、Aが免除されている」
be free from A(心配・危険・苦痛)	「Aがない、Aに悩まされない」

10. by 以外の前置詞を用いる受動態。

以下に挙げたものについては、一種のイディオムとして覚えてしまいましょう。

(1)be known	{	to A(人)	: Aに知られている
		for A(理由)	: Aで有名だ =be famous[noted] for A
		as A(人・物)	: Aとして知られている

(ex) She is known to the local community as an eccentric.
彼女は、その土地の人々には変人を通っている

④to は「到達点に向かった方向」を表す前置詞。上例の場合、「彼女=変人」としての情報が the local community にまで達しているということ。

as は = 、つまり「イコール記号」と考えるとよい。上例でも、「She = an eccentric」の関係。

New York is best known for its tall buildings.

ニューヨークは、高層の建物があることで最もよく知られている

④for は「~の故に」という理由の前置詞。

He was known as a good politician and gentleman.

彼は、良い政治家としてとしてまた紳士として知られていた

④as は = 、つまり「イコール記号」と考えるとよい。上例でも、「He = a good politician」の関係。

be known~ については、以下の表現が要注意です。

(ex) A man is known by the company he keeps.

人は自分が持っている仲間で(もって)判断される
(付き合っている仲間を見ればその人がわかる)

上例の英文中の by は「~でもって」という"判断の基準"を表す by であって、受動態の、つまり「~によって」という"受身"の by ではありません。

④be known の後ろに(受け身の)by があえて使われるのは、動作主が「知ろうとして知る」ことを示す文脈で好まれる。

(2)be interested **in** A : Aに興味がある

(3)be surprised[astounded] **at** A : Aに驚く

(4)be satisfied **with** A : Aに満足する

(ex) I am satisfied with the new car. 私は新車に満足している

(5)be covered **with** A : Aで覆われている

(ex) The mountain top was covered with snow.
山頂は雪で覆われていた

(6)be crowded **with** A : Aで混み合っている

(ex) The beach was crowded with thousands of people.
何千人もの人たちがその浜に押しかけた

(7)be engaged **in** A : Aに従事している

(ex) He is engaged in foreign trade. 彼は外国貿易に従事している

(8) be occupied with[in] A : Aで忙しい、Aでいっぱいだ

(ex) He is occupied with the latest report.

彼は最新の報告書解読に没頭している

My mind was occupied with my son.

私の頭は息子のことでいっぱいだった

(9) be caught in A : Aに遭(あ)う、見舞われる

(ex) I was caught in a shower on my way home.

帰り道でにわか雨に遭った

(10) be absorbed in A : Aに夢中になっている(である)

(ex) He was absorbed in the book. 彼はその本に夢中だった

(11) be acquainted with A : Aと知り合いである

(ex) I am acquainted with the chairman of the club.

私はそのクラブの会長と知り合いです

(12) be killed in A : Aで死ぬ

(ex) He was killed in the car accident.

彼はその自動車事故で亡くなった

(13) be filled with A : Aで満たされている

(ex) The glass was filled with water. そのグラスは水で満たされていた

(14) be convinced of A : Aを確信している

(ex) He is convinced of his innocence.

=He is convinced that he is innocent.

彼は自分が無実であると確信している

會 be+過去分詞の後の前置詞について、それぞれの前置詞のもつイメージがわかっていると「なぜそれが使われているのか」ということを理解しやすい。

たとえば at は「点」がそのイメージ。「(時の)点」は「瞬間」に通じる。つまり瞬間・一時的に感じる感情に対しては at が相性がいいのだ。だから be surprised(驚く)などは at が用いられる。

※もちろん「～によって驚かされた」と受け身的な意味合いが強い場合には be surprised by ~ という言い方もあり得る。

(ex) She was pleasantly surprised by her parents' unexpected visit.

両親が思いがけず訪ねてきて彼女は驚喜した

with は「～と一緒にいる」がそのイメージ。そこから「満足・よろこび」といった比較的長く残る(留まる)感情と相性がいいのだ。be pleased, be satisfied などが

それにあたる。be disappointed が at, with どちらも後ろにおけるのは、「がっかりした」という感情は「瞬間的」な場合もあれば「長く残る(留まる)」こともあるからと見るといい。もちろん be occupied, be crowded, be covered, be filled などと共に用いられる with は「もの・こと」が「共にある」ということ。in は「中に入っている(いて)」「中に入る」という場合に用いられる。